

平成29年度 印西市立原山中学校 全国学力・学習状況調査の結果について印西市立原山中学校
校長 関根 寿典

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。生徒にとっても学習に集中できるよい季節となりました。

さて、本年度 4 月 18 日に 3 学年生徒を対象に行われました、「全国学力・学習状況調査」の結果が判明しました。受験した 3 年生の生徒につきましては、個票を配布しております。本校全体の傾向につきましては、以下にまとめましたので、ご一読いただき参考にいただければ幸いです。

記

1. 本校生徒の分析結果

国語

国語 A(主として知識)と国語 B(主として活用)ともに、本校の平均正答率は全国平均・千葉県平均(以下「全・県」)を上回りました。

国語 A で特に大きく上回った設問は、1「文章の説明についての設問」。6の二「語句の意味についての設問」。9六1「楷書と行書の比較についての設問」。9六2「行書体の『和』についての設問」です。9六1は本校は千葉県平均比で2倍近くの正答率です。これは、書写の授業を教育課程にきちんと位置づけ、継続的に指導している成果と考えることができます。

逆に9三ア「〇〇を正す」の適語の設問と9一1「キボ」の漢字書き取りで、「全・県」を下回りました。国語の授業で漢字テストをまめに行っているようですが、今後も地道に漢字の読み・書きの力を伸ばす努力が必要だと感じます。

国語Bでは2二「内容を読み取り適切な文を選択する設問」と3二「太宰治に関して適切な説明文を選択する設問」が、ともに大きく「全・県」を上回りました。他の設問も概ね「全・県」を上回っています。

国語全体として、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域で「全・県」を上回っています。但し、「記述式問題」についてはやや苦手であり、質問紙の(79)「国語の記述問題」の回答で見られるとおり、2「解答しなかったり、書くことを途中であきらめたりしたものがあつた」が、「全・県」比で少し高い点が残念でした。

数学

数学A(主として知識)は「全・県」を上回りました。特に正答率が高かったのは1(2)「aとbが負の数のとき値を選択肢から選ぶ設問」と4(1)「作図の根拠となる対称な図形を選ぶ設問」。12「線香の燃えるときの時間と長さの関係についての設問」などです。文字式、図形、関数と基礎的なことがらが身につけているといえます。

数学B(主として活用)では、「全・県」をやや下回っています。「数と式」、「関数」の領域では1の(2)「数量関係を数学的に表現する設問」、1の(3)「理由を数学的に説明する設問」、3の(1)～(3)「一次関数についての応用問題」はいずれも「全・県」を上回りました。

他方、「図形」領域では4の(2)「三角形の形を説明する設問」、5の(2)「相対度数を求める式を書く設問」については「全・県」を下回りました。

数学A・Bともに「資料の整理」と「確率」を苦手に行っている傾向が見られます。これらについて

は確実に復習をしてほしいと感じます。また国語以上に「記述式問題」が課題です。「基礎・基本」の定着はもちろんのこと、数多くの問題を解き、さまざまなパターンの問題に対応できる力を身につけるようにしてほしいと思います。

生徒質問票から

生活面でもよい傾向が見られました。(1)毎朝きちんと朝食をとる、(15)1日の学習時間3時間以上、(16)休日の学習時間4時間以上、(31)自分で計画を立て家庭学習、(37)好きな授業がある、(40)先生はあなたのよいところを認めてくれる、(43)地域や社会で起こっている問題・できごとに関心がある、(45)地域社会などでボランティア活動に参加したことがある、(48)ニュース番組(テレビ・ネット・携帯端末で)をよく見る、(49)外国の人と友だちになる、外国のことをもっと知りたいと思う、(50)海外留学や国際的仕事をしてみたい、(58)授業で自分の考えを発表する機会が多い、(63)授業の中で目標を明示されている、(65)ノートに学習の目標とまとめを書く、(72)国語は大切だ、(74)読書は好き、(75)国語は将来役に立つと思う、(81)数学は大切だと思う、(86)数学は社会に出たとき役立つ、(89)問題の解き方や考え方が分かるようにノーに書くなど各項目について「全・県」を上回りました。また「自尊感情」や「規範意識」も高いという結果も出ています。

その一方で、(79)国語の記述問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めた、(90)数学の記述問題でも全く解答しなかったが「全・県」を上回ったのが残念です。何事もあきらめず粘り強く最後までがんばるといふ気持ちを忘れずに生活してほしいと感じます。

平成29年度全国学力・学習状況調査結果(平成29年4月18日実施 数字は平均正答率)

国語A・B、数学A・Bの千葉県平均は整数のみ公表)

| | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 国語A:主として知識、国語B:主として活用 数学A:主として知識 数学B:主として活用 |
|-------|------|------|------|------|--|
| 千葉県平均 | 76 | 72 | 63 | 47 | |
| 全国平均 | 77.4 | 72.2 | 64.5 | 48.1 | |

| 国語A | 領域① | 領域② | 領域③ | 領域④ | 観点② | 観点③ | 観点④ | 観点⑤ | 選択式 | 短答式 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 千葉県平均 | 76.0 | 85.7 | 73.8 | 74.8 | 76.0 | 85.7 | 73.8 | 74.8 | 77.6 | 73.0 |
| 全国平均 | 75.4 | 85.7 | 73.8 | 77.2 | 75.4 | 85.7 | 73.8 | 77.2 | 78.5 | 75.1 |

| 国語B | 領域① | 領域② | 領域③ | 領域④ | 観点① | 観点② | 観点③ | 観点④ | 観点⑤ | 選択式 | 短答式 | 記述式 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 千葉県平均 | 72.2 | 59.6 | 71.5 | 39.9 | 54.6 | 72.2 | 59.6 | 71.5 | 39.9 | 79.7 | 83.1 | 54.6 |
| 全国平均 | 72.4 | 60.8 | 72.1 | 41.4 | 55.9 | 72.4 | 60.8 | 72.1 | 41.4 | 79.6 | 84.1 | 55.9 |

注) 領域①: 聞くこと、話すこと ②: 書くこと ③: 読むこと ④: 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
観点①: 関心・意欲・態度 ②: 話す・書く能力 ③: 書く能力 ④: 読む能力 ⑤: 言語についての知識理解

| 数学A | 領域① | 領域② | 領域③ | 領域④ | 観点③ | 観点④ | 選択式 | 短答式 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 千葉県平均 | 68.8 | 65.0 | 54.5 | 53.4 | 65.7 | 58.8 | 66.2 | 60.7 |
| 全国平均 | 70.4 | 66.0 | 57.4 | 57.6 | 68.2 | 60.2 | 66.8 | 63.4 |

| 数学B | 領域① | 領域② | 領域③ | 領域④ | 観点② | 観点③ | 観点④ | 選択式 | 短答式 | 記述式 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 千葉県平均 | 45.3 | 46.2 | 48.7 | 47.7 | 35.7 | 59.8 | 83.3 | 53.1 | 64.8 | 20.3 |
| 全国平均 | 46.3 | 47.1 | 50.8 | 49.1 | 36.8 | 61.2 | 85.1 | 53.8 | 66.3 | 21.7 |

注) 領域①: 数と式 ②: 図形 ③: 関数 ④: 資料の活用
観点①: 関心・意欲・態度 ②: 数学的な見方や考え方 ③: 数学的な技能 ④: 知識・理解